

■ 令和 6 年度千曲市自転車活用推進計画の進捗状況一覧表

基本方針		具体施策	R5 年度の進捗状況	R6 年以降のスケジュール
基盤整備	市民や来街者の安全で快適な自転車利用に向けた基盤整備の推進	施策 1 計画的な自転車ネットワーク路線整備や情報発信の推進	・市道 2-1 号線他（大正橋～万葉橋の一部及び万葉橋～女沢橋の堤防道路）において、国の交付金を活用しながら矢羽根等を設置し、自転車通行空間を整備した（L=1,165m）。	・市道治田町西線（更埴西中学校前の道路）において、矢羽根等による自転車通行空間の整備を進める。
		施策 2 長野電鉄屋代線跡地の活用	・国の交付金を活用し、695mの区間の整備を実施した。このうち、屋代中学校西側の市道から北東に 518mの区間について、供用を開始した。	・国の交付金を活用し、倉科踏切から北側へ 435mの区間において整備工事を実施する。また、上信越自動車道より東へ約 1,300mの区間について測量設計を実施する。 ・旧東屋代駅跡地について、県の補助金を活用して広場整備を行う（今年度は工事を実施）。
		施策 3 路面等の修繕・段差解消	・施策 1 に合わせて、路面等の補修を実施した。	・自転車通行空間の整備と合わせて、路面等の修繕も実施する。
		施策 4 事故発生箇所や危険箇所の調査及び対策の実施	・小学校が把握している通学路の危険箇所について、令和 5 年 6 月に関係者と合同点検を実施した。市道で対策が必要とされた箇所について、すぐに対応できるものを年度内に実施し、通行車両の速度抑制や自転車利用者・歩行者の視認性向上を図った（対策の実施は別予算）。	・引き続き、合同点検と交通安全プログラムを実施していくことで、通学路の安全確保に努めていく（対策の予算は所管課）。
		施策 5 交通規制の導入や自動車の速度抑制策の実施	・区・自治会からの地域要望や小学校通学路における合同点検等により要望のあった交通規制の導入について千曲警察署へ進達した。 ・庁舎周辺地域のゾーン 30 の設定について、新田区の要望で警察署等関係団体と協議の場を設け調整を図ったが、区と警察が行った交通量調査の結果、交通量が少なく、ゾーン 30 の設定には至らなかった。	・地域要望や通学路合同点検による交通規制要望について、千曲警察署へ進達していく。
		施策 6 無電柱化や他道路事業と併せた自転車通行空間の整備推進	・市道一重山 2 号線において検討を実施した。	・市道一重山 2 号線の整備に合わせ、無電柱化を含めた自転車通行空間の整備検討を継続実施していく（予算は市道一重山 2 号線整備事業に併せて実施するため単独ではなし）。
		施策 7 鉄道駅やバス停等の交通結節点での駐輪場整備	・取組みなし。	・既存の駅前駐輪場において、必要に応じて修繕を行う。
		施策 8 多様なニーズに対応した駐輪場整備	・取組みなし。	・取組み予定なし。
		施策 9 駐輪マナーの周知啓発	・駅前駐輪場の管理人配置を継続実施し、声かけや整理等を行った。	・駅前駐輪場の管理人配置を継続し、声かけや整理等を行う。
健康・環境	自転車の活用による健康的で環境にやさしいライフスタイルへの転換	施策 1 0 企業における自転車通勤の推進	・県等主体の「信州スマートムーブ通勤 2023」（実施期間 9/15～9/30）について賛同、広報した。 ・11 月にエコドライブ啓発活動を行い、同時にスマートムーブの啓発も実施した。	・県でスマートムーブ通勤ウィークが実施される場合、同様に周知する（9 月）。 ・エコドライブ推進時の周知、啓発を実施する（11 月）。
		施策 1 1 市役所における自転車通勤の推進	・令和 5 年 4 月 1 日に施行された改正道路交通法によりヘルメット着用が努力義務となったことから職員にヘルメット着用を心がけるよう周知した。また、自転車保険加入義務化も併せて周知した。	・自転車通勤者に聞き取り等を行い、メリット、デメリットを職員に周知し、自転車通勤者増に繋げたい。 （令和 5 年 1 月自転車調査時：ほぼ毎日自転車通勤 78 名）
		施策 1 2 自転車による健康づくりの周知啓発	・一般健康診査等、保健指導の際に、資料を用いて啓発した。	・一般健康診査、保健指導の機会等を活用し、若年齢層に向けて、日常生活の中で自転車に乗ることの健康への効果について資料を使って啓発する。
		施策 1 3 自転車による環境負荷低減の推進	・エコドライブ啓発として千曲市地球温暖化対策協議会と保育園児が、道行くドライバーに呼びかける活動をした。	・エコドライブ推進時の周知、啓発を実施する（11 月）。 ・出前講座などで、自転車による環境負荷低減について周知する（通年）。

基本方針		具体施策	R5 年度の進捗状況	R6 年以降のスケジュール
観光 振興	千曲川サイクリングロードを核としたサイクルツーリズムの推進	施策 1 4 レンタサイクル・シェアサイクルの推進	・シェアサイクルの社会実験及び効果検証を実施した。 (運営期間：4/1～12/17)	・シェアサイクル事業を実施する。運営（3/20～12/1）及び効果検証を行い、令和 7 年度における方向性を検討する。
		施策 1 5 サイクリング拠点の認定・整備	・認定している「自転車の駅」の協力事業者等へ施設の維持・継続を依頼した。メンテナンスキット、サイクリングマップを配布した。 (認定施設数：12 施設)	・認定している施設の維持・継続に努めるとともに、民間任意団体などと協議・調整のうえ、対象となる民間事業者の確保等について検討する。
		施策 1 6 サイクリスト駐車場の整備	・公共施設等の既存の駐車場について、対象となる施設などを検討した。	・公共施設等の既存の駐車場について、対象となる施設などの協議・調整を行う。
		施策 1 7 サイクルレスキューの体制構築	・「サイクルレスキュー」協力事業所に事業の継続を依頼した。 (協力事業所数：6 事業所)	・協力事業所の維持・継続に努めるとともに、民間任意団体などと連携・協議等を行ないながら、協力事業所の確保等について検討する。
		施策 1 8 多様な自転車が楽しめるコースの整備	・都市計画課施設係と連携しながら、科野さらしなの里サイクリング推進委員会との検討を実施した。	・財源確保の課題があるため、関係部署、関係団体等と引き続き関係者間での協議を継続する。
		施策 1 9 鉄道駅のサイクリング拠点化	・シェアサイクル社会実験について、屋代駅・戸倉駅・千曲駅にサイクルポート・自転車を配置した。	・令和 5 年度の検証結果を受け、屋代駅・戸倉駅、千曲駅にサイクルポート・シェアサイクル自転車を配置する。
		施策 2 0 サイクルトレイン・サイクルバスの運行検討	・しなの鉄道沿線観光協議会（しなの鉄道及びその沿線地域との連携を図り、宣伝・誘致活動等を実施）において、団体専用列車によるサイクルトレインツアーやフリーツーリングの実証実験を実施した。	・しなの鉄道沿線観光協議会で位置づけているサイクルトレインにおける情報把握・連携を図るとともに、交通政策部署の動向も確認していく。
		施策 2 1 地域資源を活かした自転車関連イベントの開催	・協働事業提案制度採択事業として「チクマ サイクリング クエスト（スタンプラリー）」を開催した（実施主体は科野さらしなの里サイクリング推進委員会）。	・協働事業 3 か年の実施を経て、科野さらしなの里サイクリング推進委員会がイベントを実施する。市としても情報発信など協力できるところは引き続き連携していく。
		施策 2 2 市民を対象とした自転車関連イベントの開催	・前年度に引き続き、千曲ラン&サイクルホームページで千曲市が持つ魅力のひとつである、千曲川沿いのランニング、サイクリングコースやサポートショップ（白鳥園、瑞祥、戸倉観世温泉）を紹介した。	・引き続き専用ホームページや広報物等を用いた広報啓発を実施。また。コースの魅力を P R するだけでなく、千曲川ハーフマラソンや元旦マラソン等のランニングイベントも併せて参加者増を図る。
		施策 2 3 サイクリングマップの活用	・作成済みのサイクリングマップを修正・更新し、1,500 部増刷した。観光局等窓口を設置するとともに、サイクリング推進委員会等で配布した。	・作成済みのサイクリングマップの修正・更新並びに増刷予定。科野さらしなの里サイクリング推進委員会と連携しながら、多言語版マップについて検討する。
		施策 2 4 ポータルサイトの整備・充実	・「ちくまサイクリング」ホームページの保守管理を N P O 法人エリアネットに委託した。情報発信の更新等は科野さらしなの里サイクリング推進委員会に依頼した。	・ホームページの保守管理（委託）を継続する。情報発信の更新等は科野さらしなの里サイクリング推進委員会に引き続き依頼していく。
		施策 2 5 先行事例の調査・活用	・自転車を活用したまちづくりに係る先進地の現地視察（安曇野）を実施した。	・先進事例の検討及び長野・北信サイクルツーリズム推進会議参画団体等の情報共有を図りながら、サイクルツーリズムの促進に生かす。
		施策 2 6 他地域とのネットワークづくりの推進	・シェアサイクル社会実験を上田市と連携して実施（広域連携 3 か年目）した。 ・長野・北信サイクルツーリズム推進会議への参画を図った。 ・Japan Alps Cycling Road 推進協議会への参画を図った。	・シェアサイクル事業を上田市と連携して実施する。 ・長野・北信サイクルツーリズム推進会議へ参画する。 ・Japan Alps Cycling Road 推進協議会へ参画する。

基本方針		具体施策	R5 年度の進捗状況	R6 年以降のスケジュール
交通安全	自転車事故ゼロを目指した自転車ルール・マナーの周知啓発	施策 2 7 若年層・高齢者への交通安全教育の充実	・新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行され、出前講座が可能な社会情勢となったが、出前講座「交通安全教育」の申込み実績はなかった。	・出前講座が積極的に利用されるよう P R していく。
		施策 2 8 家庭での交通安全教育の促進	・千曲交通安全協会との共催により、「家庭の安全運転管理者制度」を実施し、家庭における安全教育を推進した。	・家庭の安全運転管理者制度への共催を継続していく。
		施策 2 9 交通安全意識の啓発	・季別（春夏秋冬）の交通安全運動を実施した。	・季別の交通安全運動の開催を継続する等、交通安全意識の啓発を図っていく。
		施策 3 0 自転車の定期点検や整備に関する意識啓発	・市ホームページで広報活動を行い、意識啓発を実施した。	・自転車の定期点検や整備の意識啓発について、広報活動を積極的に実施する。
		施策 3 1 自転車損害賠償責任保険の加入促進	・市ホームページで周知・啓発を行った。	・自転車賠償保険の加入促進について、周知・啓発を積極的に実施する。
		施策 3 2 ヘルメット着用の広報・啓発や補助金の利用促進	・千曲市自転車用ヘルメット購入費補助金交付要綱を整備し、市ホームページで周知啓発を行い、補助金を交付した。	・千曲市自転車用ヘルメット購入費補助金を交付する。ヘルメット着用の義務化について、周知・啓発を積極的に実施する。
全体	自転車条例の改正	施策 3 3 「千曲市自転車の安全利用及び自転車等の駐車対策に関する条例」の改正	・「長野県自転車の安全で快適な利用に係る条例」制定により、令和元年 10 月 1 日から自転車損害賠償保険等への加入の義務化や点検の努力義務化がなされた。また、「道路交通法」の一部改正により、令和 5 年 4 月 1 日から自転車用ヘルメット着用が努力義務化された。については本施策は目的を達成したと考える。	・取組み予定なし。